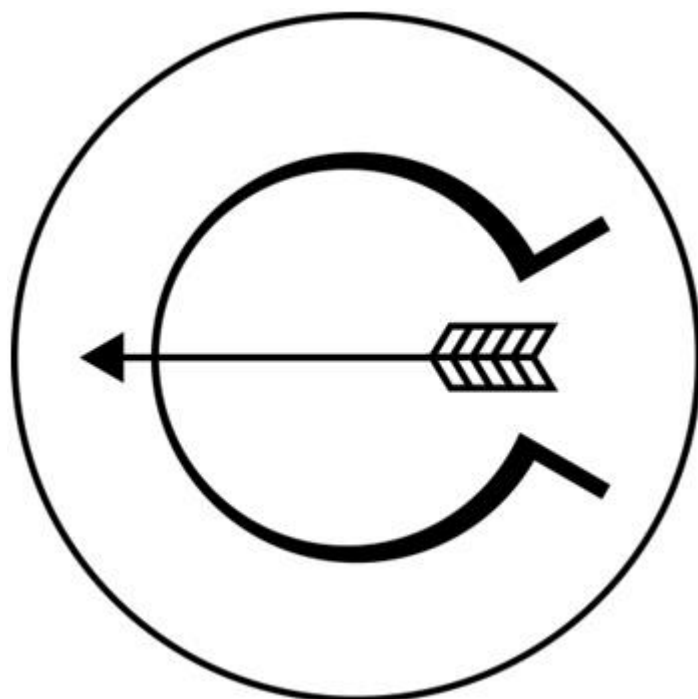


東京都リーグ戦対面開催マニュアル

新人戦・女子部新人戦 仕様



2022年12月11日 第1版 作成

2023年1月25日 第2版 作成

2023年1月26日 第3版 作成

東京都学生弓道連盟

【目次】

<u>タイムスケジュール</u>	・ ・ ・ 2p
------------------	----------

<u>試合の流れ</u>	・ ・ ・ 3p
--------------	----------

01. <u>会場準備完了</u>	
02. <u>下位校到着</u>	
03. <u>上位校・立合到着</u>	
04. <u>荷解きなどの附矢準備・道場説明・巻藁調整</u>	・ ・ ・ 4p
05. <u>附矢</u>	
06. <u>的見</u>	
07. <u>開会式</u>	
08. <u>試合開始</u>	・ ・ ・ 5p
09. <u>試合後(閉会式)</u>	
10. <u>上位校→下位校 退場</u>	
11. <u>立合 退場</u>	

<u>立合の流れ</u>	・ ・ ・ 6p
--------------	----------

◆携帯品について	・ ・ ・ 7p
◆試合進行	
01. <u>会場到着(附矢開始時刻 30 分前)</u>	
02. <u>荷解きなどの附矢準備・道場説明・巻藁調整</u>	
03. <u>附矢</u>	
04. <u>的見</u>	・ ・ ・ 8p
05. <u>開会式</u>	
06. <u>試合開始</u>	・ ・ ・ 9p
07. <u>試合中</u>	
08. <u>閉会式</u>	・ ・ ・ 10p
◆連盟に結果報告	

タイムスケジュール

男子試合(二校戦)	
9:00	会場準備完了
9:05	下位校 入場 ※下位校は 9:05 までに会場に到着して、 9:05 に入場するようにする
9:10	上位校・立合到着 ※上位校は 9:05 には到着して 9:10 には入場出来る ようにする ※立合は 9:10 には師範席(立合の席)について待機
9:40	附矢 開始
10:20	附矢 終了
10:45	試合開始 (開会式)

注意：

附矢時間は、道場の立てられる的の数によって増加する。

→1校4的を基準とし、的数の減少分の割合を附矢時間に掛けて、1的あたりに使える時間を増やす。

例)1校3的しか道場に立たない場合

40分→50分 (40分×4的/3的≒50分)

※ただし、事前に連盟まで報告し、指示があった場合のみ適応

試合の流れ

1. 会場準備完了

- ① 道場番を務めている部員が会場の清掃を行い、競技校並びに立ち合いを迎え入れるための準備を行う。
- ② 道場番は試合終了まで待機し、附矢後の替え等を担当する。

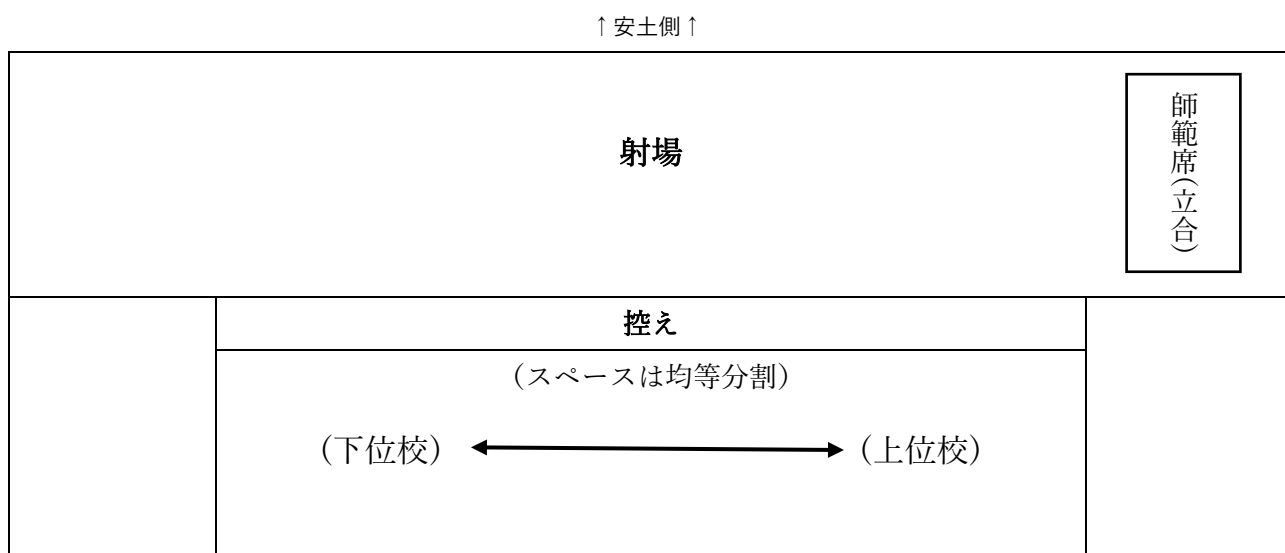
2. 下位校到着

- ① 対戦校のうち、リーグ編成表内にて下位の大学が会場に先に到着。
- ② 道場番を務めている部員に入場・入室してよいかを確認する。
- ③ 確認の後に入場し、控えの下座側（神棚より遠い側）にて全員待機する

3. 上位校・立合到着

- ① 当日対戦する大学のうち、リーグ編成表内にて上位の大学が会場に到着。
- ② すでに控えにて待機している下位校の大学の代表（主将等）に入場してよいかを確認する。
- ③ 確認の後に入場し、先に待機している下位校に対して挨拶を行う。
- ④ 立ち合いは附矢開始 30 分前までに師範席・立合席にて待機。

射場内控えの位置



4. 荷解きなどの附矢準備・道場説明・巻藁調整

- ① 対戦校は挨拶後、弓具などの荷解きを行う。
- ② 道場番の部員は各競技校の担当者を集めて道場利用にあたっての諸注意を附矢開始までに説明する。附矢の最中の矢取のタイミング・やり方を対戦校同士で相談する。
- ③ 立合は公式書類の確認・道場番と共に設備と進行確認を行う。
※詳細は立合要項を確認

5. 附矢

- ① 定刻になったら主審が附矢の開始を宣言する。
※附矢中の矢取りは各対戦校が行う
- ② 立合は附矢中に立合状を対戦校に配り、同時に立順用紙の所持の有無を対戦校に確認し、持ってきてなかった場合は立合所持の予備分を渡す。
- ③ 対戦校は 10:20 までに持ち矢の宣言を行い、立順用紙を開会式にて提出できるように準備する。
- ④ 10:20 になり次第、立合は附矢が終了したことを確認。確認後、道場番の部員に的替えをお願いし、立ち合い（主審）が的見を開始する。

6. 的見

- ① 立合（主審）が的見を行う。手順は立合要項を確認。
- ② 的見が完了して各校が控えに揃い次第、主審と副審が師範席の前に立って持ち的確認を行う。上位校から順に行い、主審を通して的位置の変更を行う。下位校が的的位置を修正した場合は上位校から順に再度的の確認を行う。またこれらは選手が主将に変更の指示をし、その指示を主将が主審に伝える形で行う。
- ③ 確認が済み次第、立合は的串を付けさせる

7. 開会式

- ① 立合（主審）から各校主将に試合開始の確認を行い了解が取れたら、「**ご集合願います**」の合図をもとに射場にて向かい合う形にて整列。

※整列の仕方は以下を参照。

- ② 立順用紙の交換を行った後に、立合（副審）が矢振りを行い、先攻・後攻を決定する。

二校戦の場合の整列



8. 試合開始

- ① 立合は貰った立順用紙と選手登録用紙を照合する。
※必ず照合が終わってから試合を開始する。
- ② 照合後、立の合間を見て黒板・ホワイトボードに選手名と記録を書く。
- ③ 6人立ち2立の同時行射が難しい道場の場合は、準備でき次第、矢振りの結果に基づいて先攻・後攻を決定し、試合を開始する。
- ④ 副審は適宜ホワイトボード（黒板）に記録を記載する。
- ⑤ 立の的中確認の声掛けは立合が行う。落の選手が本座に退場次第「**お願いします。**」と立合が合図し、的中確認を行う。確認が出来次第「**結構です。**」の合図で矢取りを行う。
※確認が終わるまで矢は抜いてはいけない。

9. 試合後（閉会式）

- ① 立合が両校にホワイトボードと公式記録用紙を各大学の記録と照合し、間違いがないことを確認。
- ② 確認後、主審が「**ご集合願います**」と合図し、閉会式を行う。
※開会式と同様の並び方で整列する。
- ③ 試合の的中と勝敗を宣言し、試合の終了を宣言する。

10. 上位校→下位校 退場

試合結果に関わらず、帰りの挨拶を行った後に上位校から順に退場する

11. 立ち合い 退場

競技校の退場を確認後、忘れ物の確認を行い、退場する。退場後、立合は連盟に結果を提出する。

立合の流れ

◆ 携帯品

● 立ち合い書類一式

- ① 立ち合い要項
- ② 公式記録用紙(1枚)
- ③ 選手登録用紙(対戦校分)
- ④ 立順用紙(予備として4枚)
- ⑤ 立合状(対戦校分)
- ⑥ 東京都学生弓道連盟規約(規約の解釈付)

● 筆記用具

- ① 黒ボールペン
- ② 赤ボールペン

● 印鑑(主審と副審の分、大学印で代用可)

● 矢筒・矢1組(副審のみ矢振り用に甲乙矢を各1本)

◆ 試合進行

※試合進行を円滑にする為に適切な注意を行うことを要するが、その判断は規約に基づいて厳正・中立でなくてはならない。

※試合進行の時間は会場の時計を用いることを原則とする。ただし、ない場合は主審の裁量で基準とする時計を決める。

1. 会場到着(附矢開始時刻 30 分前)

- 附矢開始時刻 30 分前までに師範席(立合席)に着席する。

2. 荷解きなどの附矢準備・道場説明・巻藁調整

- 持参の立合書類の確認を行う。
- 道場番と設備・進行確認をする。
- ① 双眼鏡の有無の確認(無い場合は用意してもらう)
- ② 試合で用意するの的の確認。予備の的も含めて十分な数を用意してあるかどうか、側面的紙が剥がれていないか確認する。

<原則の数>

附矢	試合(二校)	予備
8(4・4)的	原則6的	2的

- ③ 的見・的付けの打ち合わせをする。言い方の統一を行う。

※円滑に試合開始できるように十分行う

- 携帯電話の設定を確認する。学連事務所(03-6910-0791)にすぐ連絡できるようにしておく。また、着信音が鳴らないようにする。

3. 附矢

※対戦校が遅刻した場合、どちらか一方の大学が会場に未到着でも開始してよい。

※対戦校が来ない場合、すぐに学連事務所に連絡する。

※試合開始時刻に間に合わない・欠席の場合は遅刻・欠席した大学の棄権とみなす。

(但し学連側の不手際や天変地異などの正当な理由がある場合は除く。)

※棄権とみなされた場合は速やかに選手を整列させ、大学の不戦勝を宣言する。

「A大学の欠席により、B大学の不戦勝とします。」

- 附矢開始宣言
開始時間が近づいてきたら主審は師範席(立合席)の前に立ち、開始時間になったら「附矢を開始して下さい」と宣言する。
- 立合状を対戦校に配布する。
- 附矢が終了次第、道場番の部員が的替えを行い、主審が的見を開始する。

4. 的見

- 的見のやり方は原則以下のやり方で統一する。

- ・ 的の呼び方…大前・二的・三的・四的・落前・落
- ・ 位置の変え方…「〇〇（気持ち）前（後ろ）にしてください。」
- ・ 高さの変え方…「〇〇（気持ち）上げてください（下げてください）。」
- ・ 傾きの変え方…「〇〇を〇時ごろ押してください。」

- 持ち的の確認を行う。順序は以下のようにする。

① 各校が控えにそろい、主審・副審は師範席前に立つ。

② 「**持ち的の確認をお願いします**」

（各校持ち的の確認）

③ 持ち的の確認は上位校・下位校の順に行う。

下位校が持ち的の確認を行い、的的位置をずらしたときは再度、上位校に確認をし直す。

④ 確認が済んだら「**結構です。**」と言い、的串をつけさせる。

5. 開会式

- 試合開始宣言の前に各対戦校に確認を取る。順序は以下のようにする。

① 上位校から順に主将の前で正座し、礼をする。

② 小声で「**時間となりましたので（お時間少々早いようですが・遅くなりましたが）試合を開始させていただいてよろしいでしょうか**」と試合開始の可否に関して確認する。

③ 了解が取れたら、礼をして立つ。

④ 再び主審・副審が師範席前に揃う。

- 試合開始宣言を行う。順序は以下のようにする。

① 「**ご集合願います。**」と言い、両校の選手を整列させる。

② 整列後、「**只今より、第〇期新人戦〇回戦、A大学対B大学の試合を開始させていただきます。**」と言う。

③ その後、立順用紙提出・交換を行う。

「**試合に先立ちまして、両校主将による立順用紙の提出、並びに交換をお願い致します。**」

④ 試合の順番を決めるために矢振りを行う。

「**試合の先攻・後攻は矢振りにより決定致します。両校主将の方、ジャンケンをお願いします。**」

「**只今の矢振りの結果、先攻A大学、後攻B大学により試合を開始させていただきます。**」

できます。」(必要な場合のみ、副審による矢振り)

- ⑤ 「なお、試合中に生じた出来事につきましては、学連規約により処理させていただきます。双方(各校)、礼。」

6. 試合開始

- 出場選手の照合を行う。

開会式で受け取った立順用紙を速やかに選手登録用紙と照らし合わせる。以下が確認する点となる。

○出場選手名(フルネーム)の確認

○学年・新人の確認

※全ての選手が登録されているか確認し、それが終わるまでは立を始めさせない。

- 公式記録用紙・黒板(ホワイトボード)に選手名を記入する。

7. 試合中

- 師範席にて進行状況を確認しつつ公式記録用紙に的中を記録。

- 立間で黒板(ホワイトボード)に各選手の的中の記録を行う。

- 的中確認を行う。確認の仕方は以下の順序で行う。

- ① 落の選手が本座まで退場して、安全確認が出来次第、「**お願いします**」と合図して的中確認を行う。

※確認が終わるまで矢に触れさせない。

確認前に矢に触れてしまった場合、その的中全ての矢を外れとする。

※不明な矢が出た場合、主審自ら矢場で確認する。その際、決して矢に触れてはならない。「規約の解釈」を参照する。

解決しない場合は学連事務所に速やかに連絡し、判断を待つ。

- ② 公式記録の的中と確認内容に誤りがなければ「**結構です**」と合図し矢を抜く。

- 行射の妨げとなる危険矢が出た場合、行射を一時中止し当該的のみの的中確認を行う。確認の仕方は以下の順序で行う。

- ① 危険矢が出たタイミングで「**次の取弾をお待ち下さい**」と合図。

- ② 安全確認が取れ次第、当該的の的中の確認と矢取りを行わせる。

※行射終了後の的中確認は、取り除いた矢の的中を含める。

例) ○×(1・2本目)→2本目が危険矢/的中確認・矢取り/行射再開

→○○(3・4本目)⇒行射終了後の的中確認「三中(○×/○○)」

- 選手交代が出た時、選手登録用紙の登録選手と照合する。確認が取れ次第、公式記録用紙へ記入する。相手校への通知が完了次第、当該の立の入場・行射を開始する。

※正常な届出のない交替選手の矢は無効とする。また、同一試合中の再

出場は認めない。

- 的が外れた場合、以下の順序で対処する。
 - ① 次の取懸けを止め、安全確認次第「お願いします」と言う。
 - ② 当該の的的中確認をさせる。
※立後の的中確認同様、確認が終わるまで矢を抜かせない。
 - ③ 当該の的で引く両校(各校)の選手を集め、再度持ち的の確認を行う。確認が取れ次第、「結構です。的を掛けてください」と言う。
- その他トラブルが起きた場合、規約・要項を確認して処理する。判断がつかない場合学連事務所に連絡する。

8. 閉会式

- 勝敗宣言の前に各校に試合結果の確認を取る。順序は以下のようにする。
 - ① 主審が公式記録用紙を持ち、上位校から順に主将の前で正座し、揖をして礼をする。
 - ② 「記録用紙の確認をお願いいたします」と言う。
 - ③ 了解が取れたら、礼をして揖をして立つ。
 - ④ 再び主審・副審が師範席前に揃う。
- 勝敗宣言を行う。順序は以下のようにする。
 - ① 「ご集合願います。」と言い、両校の選手を整列させる。
 - ② 整列後、「只今の試合の結果、(先攻) A 大学○中、(後攻) B 大学×中、よって、A 大学の勝ちとさせていただきます。」と言う。
「尚、只今の試合で A 大学○年～さんが皆中賞(新人賞)を獲得いたしました。」 ※皆中賞・新人賞がいた場合
 - ③ その後、「双方(各校)、礼」と言う。
- 同中競射があった場合、以下のような流れで進める。
 - ① 試合結果の確認後、「ご集合願います」と言い、選手を整列させる。
 - ② 「只今の試合の結果、(先攻) A 大学○中、(後攻) B 大学○中、よって同中となりましたので、一手競射(決定しない場合、一本競射で決定するまで)を執り行います。」と言う。 ※このタイミングでの選手交代は認められる。
 - ③ 勝敗がついたら再び「ご集合願います」と言い、集合をさせる。
 - ④ 「只今の競射の結果、先攻 A 大学○中、後攻 B 大学×中、よって A 大学の勝ちとさせていただきます。双方(各校)、礼。」と言う。

◆ 連盟に結果報告

試合終了次第、速やかに主審は連盟の指示されたやり方で試合結果を報告する。